

神楽の魅力に酔いしれた2日間



神楽の祭典としては九州一の規模といえる、第19回神楽フェスティバルが10月2～3日、道の駅・波野「神楽苑」で開催されました。2日目雨天にもかかわらず今年も賑わい、延べ2,500人が来場。県内外12団体による多彩な演目が披露されました。

波野小学校、波野中学校の子ども神楽クラブの皆さんも堂々たる舞を披露し会場を魅了しました。



▲波野小学校子ども神楽部



横掘岩戸神楽保存会



▲中江岩戸神楽保存会

▲第10回中九州ジャンボかぼちゃ大会
大分県からの参加が多い今大会。今回も122人291点もが出品され、見事一等に輝いたのは山村文哲さん(竹田市)の重量106kgでした。

耕作放棄地で芋掘り!



一の宮町土地改良区「水土里ネット一の宮」と阿蘇市区長会一の宮支部の主催で、耕作放棄地の解消と子どもたちの農業体験を目的とした、秋の大収穫祭「芋掘り」が10月19日、水土里ネット一の宮付近の農地で行われました。

今年で3年目を迎えるこの取り組み。5月に、約1,400㎡の農地を利用し1,500本の苗が植えられました。

収穫には関係者や一の宮中の生徒、併せて約50名が参加し、大きく実った芋の収穫に汗を流しました。収穫された約780kgの芋は阿蘇市に寄贈され、学校給食として利用されます。

マイバックを持参しましょう



10月19日、ホームワイド(株)阿蘇店で、阿蘇市廃棄物減量等推進協議会(藤井貴美夫会長)の皆さんが、買い物客に啓発チラシと買い物用バックを配布し、『レジ袋を削減しゴミの減量につめましょう』と呼びかけました。

九州統一の推進月間(10月)にちなみ実施したもので、協議会が準備した200個のマイバックを配布しました。